



初稿・第2稿：2023年10月3日

第3稿：2023年10月19日

第4稿：2023年11月6日

関係各位

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）

理事長 河田恵昭

（関西大学 社会安全研究センター長／特別任命教授／関西大学・京都大学名誉教授）

## 2023年度 大規模災害対策に関する現地調査開催のご案内

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（以下 CDR）活動に対しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

CDR では、大規模災害のメカニズムやその対策を研究、検討するにあたっては、「現地を見ること、現地の声を聞くこと」が最も重要であるという認識のもと、毎年、全国各地で現地調査を実施してまいりました。

今年度は別添の「実施要項」で開催致します。

大変お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、多数の方々のご参加をお願い申し上げます。参加申込やその他要項につきましては次頁をご参照ください。

ご検討の程、よろしくお願い致します。

敬具

### 【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）事務局

〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-3-20 (株)ニュージェック研究開発グループ気付

担当：事務局長 吉田（高木）

(TEL) 06-6374-4420 (つながらない場合は、06-6374-4814 (高木))

E-mail : cdr@newjec.co.jp

<http://e-tsunami.com/>

## 2023 年度 大規模災害対策に関する現地調査

### 『東日本大震災復興状況調査（2011 年 3 月 11 日発生から 12 年後の復興状況）』

# 実施要項

#### 1. 開催趣旨

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）では、大規模自然災害の復旧復興状況や災害対策の実施状況や実施方針を学び、南海トラフ巨大地震津波対策や大規模・広域災害対策に資することを目的とした現地調査を毎年実施している。

そこで、2023 年度は『東日本大震災復興状況調査（2011 年 3 月 11 日発生から 12 年後の復興状況）』と題して、岩手県宮古市田老地区から宮城県気仙沼地区にかけての三陸沿岸地域の震災から 12 年経過した復興状況を調査する。

#### 2. 開催概要

##### (1) 主催

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）

(2) 実施日時：2023 年 12 月 8 日（金）～11 日（月）（3 泊 4 日）

##### (3) 調査実施場所

・岩手県宮古市田老地区～宮城県気仙沼地区

##### (4) 現地調査の内容(予定)

当初、5 年周期で復興状況を視察し、進捗状況、現地での課題等を調査する予定だったが、コロナ禍によりタイミングを逸していた（前回調査：2016 年 10 月 4～7 日）。

震災から 12 年が経過し、各地域において復興が進んでいるが、その状況は地域によってかなり異なる。そこで、復興の成功例や、課題を抱えている地域の現状など、12 年経過した現在の被災地の有り様を様々な角度で学習し、南海トラフ巨大地震津波対策検討の一助とする。

##### (5) 行程・スケジュール（諸事情により変更することもあります。予めご了承ください）

※【 】:案内役

●12月8日（金）

・ 13:10 盛岡駅集合

・ 13:15 盛岡駅出発（時間厳守！）

・ 16:00～18:20 宮古市田老地区（田老漁港）、宮古市役所

【宮古市 危機管理監危機管理課】

① 田老漁港の視察

・ 津波防潮堤及び防災集団移転促進事業による三王団地造成過程の解説

② 宮古市役所に移動しての説明会

・ 東日本大震災による田老地区の災害危険区域の土地利用

・ 東日本大震災発生後の田老地区等宮古市の防災対策、計画の見直し項目

・ 今後発生可能性がある日本海溝・千島海溝等を震源とする巨大地震による津波対策として田老地区で懸念される事項、検討すべき避難計画の内容、等

・ 18:30 宮古市内（泊）

●12月9日（土）

- ・ 8:15                   ホテル出発
- ・ 8:35～10:00        鉾ヶ崎陸閘、閉伊川水門、津軽石川水門  
    【岩手県 沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター】
  - ・ 鉾ヶ崎陸閘（試験稼働予定）、閉伊川水門（建設現場）、津軽石川水門（試験稼働予定）の視察および解説
- ・ 11:00～12:10      いのちをつなぐ未来館（釜石市）  
    【いのちをつなぐ未来館】
  - ・ 施設の概要説明（45分）
  - ・ 最近の防災学習等の取り組み紹介（特に次の大規模災害へどのような啓発活動、イベント等で注意喚起を行っているのか（25分）
- ・ 13:30～14:30      岩手県オイルターミナル（株）（釜石市）  
    【岩手県オイルターミナル（株）】
  - ・ 東日本大震災時の被害、復旧・復興過程
  - ・ 被災した際の連携・協力体制、代替手段等について
  - ・ 今後想定される日本海溝、千島海溝地震津波への対策
  - ・ 現地見学（スロッシング対策など震災、津波災害への対策部分等について）
- ・ 15:30～17:30      キャッセン大船渡（大船渡市）  
    【大船渡市都市整備部土地利用課、総務部防災管理室】
  - ・ 東日本大震災による大船渡市の災害危険区域の土地利用（震災発生前と現在との比較）
  - ・ 東日本大震災発生後の大船渡市の防災対策、計画の見直し項目
  - ・ 防災集団移転促進事業における大船渡市（中心地域および周辺地域）造成過程の解説と課題・問題点
  - ・ 今後発生の可能性のある日本海溝・千島海溝等を震源とする巨大地震による津波対策として懸念される事項、検討すべき避難計画の内容など
  - ・ 補足説明（例えば、集団移転事業の造成地の空地問題、災害危険区域の土地利用の課題など）
- 【（株）大船渡キャッセン】
  - ・ キャッセンが整備されるまでの経緯（どのようなコンセプト、計画に基づき整備されたか、事業用地の取得方法など）
  - ・ まちもり大学などキャッセン運営の特徴、防災とまちづくり、など
  - ・ 空き店舗の入れ替えなど商業戦略に関する現在および今後の課題、問題点
  - ・ キャッセン大船渡の施設視察
- ・ 18:00                   大船渡市内（泊）

●12月10日（日）

- ・ 8:30                   ホテル出発
- ・ 9:00～12:00        陸前高田市消防防災センター→市街地復興状況調査  
    【陸前高田市 防災局防災課】
  - ① 陸前高田市消防防災センターでの説明会
    - ・ 防災集団移転促進事業による陸前高田市（高田地区等中心地域および周辺地域）造成過程の解説
    - ・ 東日本大震災による陸前高田市の災害危険区域の土地利用（震災発生前と現在との比較）
    - ・ 東日本大震災発生後の陸前高田市の防災対策、計画の見直し項目
    - ・ 今後発生の可能性のある日本海溝・千島海溝等を震源とする巨大地震による津波対策として懸念される事項、検討すべき避難計画の内容など

- ・ 補足説明（例えば、集団移転事業の造成地の空地問題、災害危険区域の土地利用の課題など）
- ② 防災集団移転促進事業等による造成地および災害危険区域（従前地）の視察
- ・ 14:00 気仙沼駅  
※12/10に帰阪、帰京される方を気仙沼駅で降ろします。

**《参考：時間は再度ご確認ください》**

★気仙沼駅から仙台駅・仙台空港→大阪へ（電車使用：一ノ関からは新幹線使用）

・気仙沼駅14:21発→一ノ関15:40着・15:48発→仙台駅16:23着・16:50発→仙台空港17:17着（仙台空港→伊丹空港：最終便 ANA/JAL 18:55発→20:20～25着）

・気仙沼駅16:15発→一ノ関17:38着・17:48発→仙台駅18:20着

★新幹線（東京で乗換）で帰京・帰阪する場合

・気仙沼14:21発→一ノ関15:40着・15:48発→仙台16:23着（乗換）16:31発→東京18:04着・18:21発→新大阪駅20:48着

・気仙沼16:15発→一ノ関17:38着・17:48発→東京19:56着・20:09発→新大阪駅22:36着

- ・ 14:00～16:00 気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ  
【気仙沼商工会議所】
  - ・ 内湾地区の防潮堤整備等に関する経緯
  - ・ 防潮堤を勉強する会における議論、まちづくり協議会、など
  - ・ 次の大規模災害（津波被害）に関して事前にどのようなまちづくり、環境を整えておく必要があるか、など
- ・ 16:30頃 気仙沼市内（泊）
- 12月11日（月）
  - ・ 9:00 ホテル出発
  - ・ 9:10～10:00 気仙沼シャークミュージアム
  - ・ 12:45～13:10 仙台駅解散

(6)参加募集人数：28名（参加資格）特になし

※ 基本、先着順といたしますが、参加希望者多数の場合は CDR 会員（正会員、賛助会員）を優先とさせていただきます。予めご了承ください。

※（例年の参加者：20～25名程度）

大学教員（教授、准教授等／関西大、京都大、名古屋大、東北大、他）、学生（4回生以上）、研究機関、自治体防災担当者、自治体 OB（元防災監、等）、ライフライン企業、ゼネコン、建設コンサルタント、鉄鋼橋梁メーカー

(7)現地移動手段：大型観光バス（定員 55 名（うち補助席 10））にて移動

(8)企画・現地調整協力

- ・ 福留邦洋 氏：岩手大学 地域防災研究センター 教授
- ・ 越村俊一 氏：東北大学 災害科学国際研究所／副所長・教授、災害レジリエンス共創センター／副センター長、CDR 副理事長

※両先生とも現地調査に同行いただきます。

## 2023 年度 大規模災害対策に関する現地調査

『東日本大震災復興状況調査（2011年3月11日発生から12年後の復興状況）』

# 参加募集要項

### (1) 往復交通手段について

- ・ 参加者の離発着地は各自で異なりますので、団体で一括手配はいたしませんので、各自手配、もしくは旅行会社経由での手配でご準備ください。
- ・ 参加申込みいただいた後、旅行会社（(5)参照）から参加者各位に電話連絡をさせていただきますので、その際、手配依頼の有無、等ご相談ください。

### (2) 宿泊ホテル

※ ホテルは事務局でまとめて予約いたします。

※ 昨今の国内外観光客によるオーバーツーリズム、秋の行楽シーズンの影響により、ホテルの部屋数確保が難しくなっている関係より、参加定員数を基本、最大 28 名とさせていただきます（各ホテルとも「28 名」で仮予約済み）。予めご了承の上、お早めにお申し込みください。

#### 1) 12月8日(金)

ホテル近江屋

〒027-0024 岩手県宮古市磯鶏 1-1-18 (0193-62-3660)

<https://hotel-oomiya.co.jp/>

#### 2) 12月9日(土)

大船渡プラザホテル

〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町茶屋前 7-8 (0192-26-3131)

<https://www.ofunatoplaza.com/>

#### 3) 12月10日(日)

気仙沼ホテルー景閣

〒988-0036 宮城県気仙沼市弁天町 1-4-7 (0226-22-0602)

<https://ikkeikaku.co.jp/>

### (3) 必要経費(一人あたり参加費用(個人負担費用:概算))

#### 1) 往復交通費

①伊丹空港→仙台空港→仙台駅→盛岡駅、仙台駅→仙台空港→伊丹空港：約¥8.3～9.3万

②新大阪→東京→盛岡駅、仙台駅→東京→新大阪：約 4.9万

③東京→盛岡駅、仙台駅→東京：約 2.7万

※ ご自宅から最寄り空港、駅までの移動費用は別途必要です。

※ 手配等必要に応じて日本旅行社にご相談ください。

※ 当日飛行機で移動される方は、集合時間の都合上、「いわて花巻空港」利用では間に合いません。ご面倒ですが、「仙台空港」をご利用ください。

※ 12月8日(金)の訪問先(宮古市田老地区三王地区)へは日没の関係上、16時必着を要請されておりますので、盛岡駅集合時間(13:10)、出発時間(13:15)厳守でお願いいたします。

《参考：時間、便名等につきましては再度、公式サイト、時刻表等でご確認ください》

【(往路1) 大阪・伊丹空港発→仙台空港→仙台駅→盛岡駅】

- ・ (JAL2203 便) 伊丹空港 9:15 発→仙台空港 10:25 着、10:48 発→仙台駅 11:13 着・11:54 発 (はやぶさ 17 号) →盛岡駅 12:32 着
- ・ (ANA735 便) 伊丹空港 10:05 発→仙台空港 11:15 着、11:36 発→仙台駅 11:53 着・12:17 発 (はやぶさ 19 号) →盛岡駅 13:01 着

【(往路2) 新大阪発→東京駅→盛岡駅】

- ・ 新大阪 8:06 発 (のぞみ 214 号) →東京 10:33 着・10:44 発 (はやぶさ 19 号) →盛岡駅 13:01 着

【(往路3) 東京駅→盛岡駅】

- ・ 東京 10:44 発 (はやぶさ 19 号) →盛岡駅 13:01 着

【復路 (仙台空港→伊丹空港)】

※12/11 (月) 仙台駅 13:00~13:30 頃解散予定です。冬の東北ですので路面状況等により到着時間が若干前後します。余裕を持ってお帰りの便の手配をお願いいたします。

※JR 新幹線を利用して東京、新大阪へお帰りの方は各自でご確認ください。

- ・ **仙台駅 13:50 発**→仙台空港 14:17 着 (※17 時までは毎時 10、30、50 分発で 27 分)
  - (ANA3154 便) 仙台空港 15:15 発→伊丹空港 16:40 着
  - (ANA738 便) 仙台空港 17:30 発→18:55 着
  - (ANA740 便) 仙台空港 18:50 発→20:25 着
  - (JAL2210 便) 仙台空港 15:40 発→伊丹空港 17:05 着
  - (JAL2212 便) 仙台空港 17:55 発→19:20 着
  - (JAL2214 便) 仙台空港 18:55 発→20:30 着

## 2) その他費用 : 約 6.8 万程度

(上記金額に含まれるもの)

- ・ 団体旅行保険代、宿泊ホテル代 (3 日分 (12/8・9・10) 1 泊 2 食付)、食事代 (昼食 2 回 (12/9・10)、懇親会費 (飲料代 (3 日分 (12/8・9・10)))
- ※ 日本旅行社企画調整費、大型バスチャーター代、バス運転手経費、高速道路通行料、駐車場代、現地調査にかかる経費 (ヘルメット借用料、ガイド委託料、他) は CDR 事務局で補助 (全額負担) します。
- ※ 学生に対しては、一律 ¥10,500 (懇親会費相当) を免除します。

## (4) 参加申し込み方法

別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、事務局まで E-mail にてお申し込み 下さい。

参加申込の 一応のメ切 は、**11 月 2 日 (木) 13:00** とさせていただきます。

なお、定員 (28 名) に達し次第、締め切らせていただきます (先着順)。

※ 基本、先着順といたしますが、参加希望者多数の場合は CDR 会員 (正会員、賛助会員) を優先とさせていただきます。予めご了承ください。

また、定員に達するまで受け付けますので事務局までお問い合わせください。

**(最終メ切: 11 月 22 日 (水) 12 時)**

途中からの参加、途中離脱も可能ですので、事務局までご相談ください。なお、団体行動、予定している行程重視をご理解いただき、その方法、合流・離脱場所は各自でご調整、ご手配いただくこととなりますので、予めご了承ください (タクシー等の手配については旅行会社にご相談ください)。

### 【申込先・お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）事務局

〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-3-20 ㈱ニュージェック研究開発グループ気付

担当：事務局長 吉田（高木）

(TEL) 06-6374-4420（つながらない場合は、06-6374-4814（高木））

E-mail : cdr@newjec.co.jp

<http://www.e-tsunami.com/>

### （５）参加申込み後のスケジュール

- ① お申し込み後、直ちに下記、旅行会社から各位に E-mail と電話にて連絡させていただきます。その際、参加費用の請求、徴収、往復交通手段手配、その他ご希望等に関しましては、旅行会社担当者にご調整ください。

#### 【旅行会社】

㈱日本旅行 大阪法人営業統括部 コーポレート営業部

担当：堤野 剛（TSUTSUMINO GO）

〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-4-1 山口玄ビル 6 階

メール：go\_tsutsumino@nta.co.jp

携帯電話：080-7478-0588

会社 TEL：06-6204-1812

- ② 参加申し込み後のキャンセル料は各自ご負担いただくこととなりますので、予めご了承下さい（キャンセル料の詳細については、旅行会社にお問い合わせください）。
- ③ 服装については、現地調査ならびに長距離移動を考慮して、軽装（動きやすい服装、靴）でご参加いただければ結構です。現地訪問先には事前に承諾を得ておりますので、心配無用です。なお、12月の冬の東北、三陸沿岸域はかなり気温が下がりますので、天気予報等でご確認いただき、十分な防寒対策をお願いいたします。
- ④ この開催案内は、NPO 法人大規模災害対策研究機構（CDR）会員、CDR に情報提供希望のご登録をいただいている諸団体の連絡者、過去 3 カ年の CDR 主催イベント参加者、の方々にお送りしておりますが、その他関係部署、お知り合いの方々にも広くこのイベント案内をご回覧、ご推薦くださいますようお願いいたします。
- ⑤ 当現地調査に参加しやすい方法につきましてもお気軽に事務局までご相談ください。（理事長名・押印あり）による現地調査派遣依頼書発行 等）

以 上